

## 活動報告

### 日本史研究推進委員会秋季講座 集中講座「戦後史を学ぶ」

会場 県立港南台高等学校

第一日および第二日 一〇月二五日(土) 十一月一日(土)

講師 新谷 桂(県立港南台高等学校)

時間 生徒対象講義 九:〇〇〜十一:三〇

受講者 県立港南台高等学校三年生 一五名

講義教室 普通教室

講義内容

・戦後の諸改革 マッカーサーの五大改革指令

・朝鮮戦争と日本の独立回復、日米安保条約

第三日 十一月八日(土)

講師 新谷 桂①② 木村芳幸(県立横須賀工業高等学校)③

時間 生徒対象講義 九:〇〇〜十一:三〇

受講者 県立港南台高等学校三年生 一五名

講義教室 コンピュータ教室 普通教室

講義内容

①戦後史講義の続き 日ソ共同宣言、国連への加盟 安保条約改定

②今まで学んできた戦後史関連のスライドをパワーポイントで

提示

・ポツダム会談の場所(宮殿・会議室)

・降伏文書調印の場所(戦艦ミズーリ・現在真珠湾に記念艦として存在)

・朝鮮戦争(仁川月尾島・国連軍上陸地点・仁川自由公園の  
マッカーサー像・板門店)

・ソウル安重根記念館・旧朝鮮総督府

・ベトナム戦争(ハノイ市 撃墜されたB52の残骸 ホー

チミン市 旧大統領官邸)

・沖縄(嘉手納飛行場・普天間飛行場)

・ベルリンの壁、クレムリン、レーニン廟、大連駅、ハルビ

ン駅 など

③「歴史の中の子供たち〜少子高齢化社会を日本史の中で考える〜」

歴史的な環境と人口との関係、日本人の価値観や家族の役割  
の変化などについて学習。

5人一班になっての資料の読み取りと発表。時期の違う2枚  
の「七五三」の写真から、社会背景を推察した。また人口ピ  
ラミッドの読み取りから少子高齢化社会への対応を考えた。

第四日 十一月五日(土)

講師 新谷 桂① 木村芳幸②

時間 生徒対象講義 九:〇〇〜十一:三〇

受講者 県立港南台高等学校 三年生 一〇名

講義教室 コンピュータ教室

講義内容

①戦後史講義の続き 高度経済成長とアジア情勢の変化

②「身近になった文化財 〜文化財の保存活用を考える〜」

歴史的な街並みとその保全、活用についてパワーポイントの

映像で紹介し、文化財と日常生活との共存を「伝統か、未来か」というキーワードを基に考えた。歴史的な街並みを守るための建築・景観についての協定やその意義について説明し、生徒には、「歴史的な街並みに郵便局、警察署を作るなどどのような建物を建てるか」について、海野宿の写真を使用して実際に描かせた。

第五日 十一月 二二日(土)

講師 新谷 桂① 竹中千春(明治学院大学国際学部教授)

国際政治・南アジア政治専攻②

時間 生徒対象講義 九:〇〇~十一:三〇

受講者 県立港南台高等学校 三年生 一〇名

講義教室 会議室

講義内容

①戦後史講義の続き 第一次石油ショック以降の日本 プラザ

合意とバブル経済の崩壊 「五五年体制」の終焉

②模擬授業「大学への戦後史」「民主主義について考えよう」

(1)民主主義の特徴をいくつか挙げさせ、基本的な知識を確認する

(2)民主主義の「練習問題」

上流からA村(三〇世帯)・B村(二〇世帯)・C村(四〇世帯)を通って、市(五〇〇〇世帯以上)に川が流れています。水害防止および水資源の有効活用のため、B村周辺を巻き込むダム建設が公共事業としてかなり前から計画されています。これがいよいよ実行段階となり、入札により、すでに大手建設会社の受注が決まりました。しかし、

住居や耕作地が水没するため代替地への移転が予定されて

いる村の住民の中からはB村長主導で勧められた計画に反対が強く、住民運動が起こりそうな気配です。

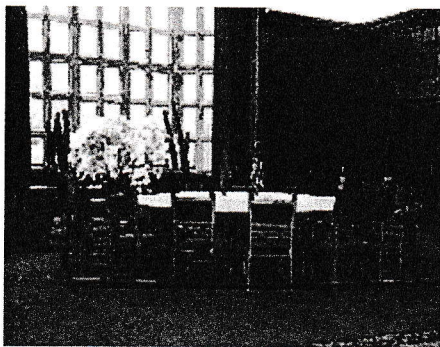
あなたが、B村の住民だったら、何を考え、どうしようと思えますか。村やC村の住民、D市の住民だったら、どう考えますか。あるいは、こうした事情を知ったD市に住む大学生だったら、何を考え、どうしようと思えますか。

(3)日本国憲法の「読み直し」と大学の存在意義

憲法にも、国の制度にも、大学で学ぶ知識にも、明確な目的がある。それは、同じ社会に暮らす人々が、そして自分が、人間らしく幸福な生活を営むという目的である。そのため「力(Power)」を身につけるため、すなわち学問の「知」と実践を学ぶ場が大学であり、民主主義も、そうした知恵が生み育ててきた方法の一つである。

文責 新谷 桂(港南台高)

〈ポツダム会談の会議室〉



〈戦艦ミズーリ〉

